

現代女性の 「胸・バスト」意識

1981 (昭和56年)

株式会社 ワコール

現代女性の「胸・バスト」意識 《目 次》

調査企画の概要	1
1. “胸”から連想する言葉、“バスト”から連想する言葉.....	2
2. 自分のバストに満足している女性は3人に1人	3
3. 初めてバストを意識したのは12歳。(平均13.3歳).....	4
4. 初めてブラジャーを着けたのは13歳。そのときの感想は「恥ずしかった」.....	6
5. 男性からバストについて何か言われた女性。2人に1人。	7
6. バストの損得、「どちらともいえない」が約8割	8
7. バストの外見上の差で「セクシーさ」「男性からの注目度」「女らしさ」に影響が。 .	9
8. “女”を表現する上でのバストの役割	10
9. バストを大きく見せたいときは「水着」「ドレスアップ」の時。	11
10. ブラジャーを意識して変えるのは「ドレスアップするとき」 「洋服のデザインによって」。	12
11. ブラの種類や色の違いで、その時の気分や気持ちが変わる女性は3割以上.	13
12. “女らしさ”の表現ポイント、“女らしさ”の3要素	14
13. 「胸の中の想い(感情)は、バストの形になって表れるか」.....	16
14. 「胸がおどる」のは、「胸がいっぱいになる」のは.....	17
15. “胸に秘めた”思い出	19
16. “胸をひらいて”話し合える友人.....	20
17. 最も美しいバストの女性、“胸をはって”生きている女性	21
18. “女の胸”とは、「感情や心を表現したり、受け止めるもの」.....	21

女性300人に聞くアンケート調査

調査企画の概要

1. 調査目的

「胸・バスト」は女性の象徴といわれますが、実際、現代女性は「胸」や「バスト」にどんなイメージや意識を持っているのでしょうか。

この調査は、「胸」「バスト」に対して、現代女性はどんなイメージを抱き、意識を持っているかを把握し、シンポジウムの基礎資料とする目的で行ったものです。

2. 調査対象

住民基本台帳から無作為抽出した首都圏在住の18歳～39歳の女性 300名(有効サンプル)。

3. 調査方法 直接面接法

4. 調査期間 昭和55年12月～昭和56年1月12日

5. 標本構成

有効サンプル数	年 令			未 既 婚			職 業			体 型			
	18才	25才	30才	未 婚	既 婚	無 回 答	学 生	O L	主 婦 専 業	や せ 型	標 準 型	肥 満 型	無 回 答
300名 100%	171名 57.0%	52名 17.3%	77名 25.7%	188名 62.7%	111名 37.0%	1名 0.3%	100名 33.3%	100名 33.3%	100名 33.3%	80名 26.7%	181名 60.3%	27名 9.0%	12名 4.0%

$$\text{注) 体型} = \frac{\text{体重}}{\text{身長}^2} \times 100 \rightarrow \begin{cases} 110 \text{以上} & \text{肥満型} \\ 90 \sim 110 \text{未満} & \text{標準型} \\ 90 \text{未満} & \text{やせ型} \end{cases}$$

調査結果

1. “胸”から連想する言葉——「女性」「母親」「心」 “バスト”から連想する言葉——「女性」「胸」「ブラジャー」

Q1-1 あなたは“胸”という言葉から何を連想しますか。(自由回答)

Q1-2 あなたは“バスト”という言葉から何を連想しますか。(自由回答)

“胸”から連想する言葉を自由にあげてもらった結果「女性」が36名で最も多く、次いで「母親」(26名)、「心」(25名)、「バスト」(15名)、「ハート」「あたたかさ」(各12名)の順となっています。

また、“バスト”から連想する言葉は、「女性」が40

名、次いで「胸」30名、「ブラジャー」が24名となっています。

いずれも連想する言葉のトップは「女性」ですが、2位以下をみると、“胸”と“バスト”では、やや違ったイメージで捉えられているようです。

〈表1〉“胸”から連想する言葉ベスト10

(単位:名)

	言葉	全 体	バストの大きさ別		
			大 き い 人	ふ つ う の 人	小 さ い 人
1	女 性	36	6	18	12
2	母 親	26	4	15	7
3	心	25	2	11	12
4	バ ス ト	15	1	10	4
5	ハ ー ト	12	0	7	5
	あ た た か さ	12	3	6	3
7	心 臓	11	1	5	5
8	ふ く よ か さ	8	0	5	3
9	男 性 の 胸	6	0	2	4
10	肺	5	0	2	3
	は と	5	0	4	1

〈表2〉“バスト”から連想する言葉ベスト10

(単位:名)

	言葉	全 体	バストの大きさ別		
			大 き い 人	ふ つ う の 人	小 さ い 人
	女 性	40	6	21	13
	胸	30	3	21	6
	ブ ラ ジ ャ ー	24	3	15	6
	サ イ ズ	19	2	10	7
	プ ロ ポ ー シ ョ ン	10	1	5	4
	女 ら し さ	9	0	6	3
	ヒ ッ プ	7	0	4	3
	グ ラ マ ー	7	1	2	4
	胸 囲	6	0	2	4
	ス タ イ ル	6	1	3	2
	下 着	6	0	4	2

2. 自分のバストに満足している女性は3人に1人。

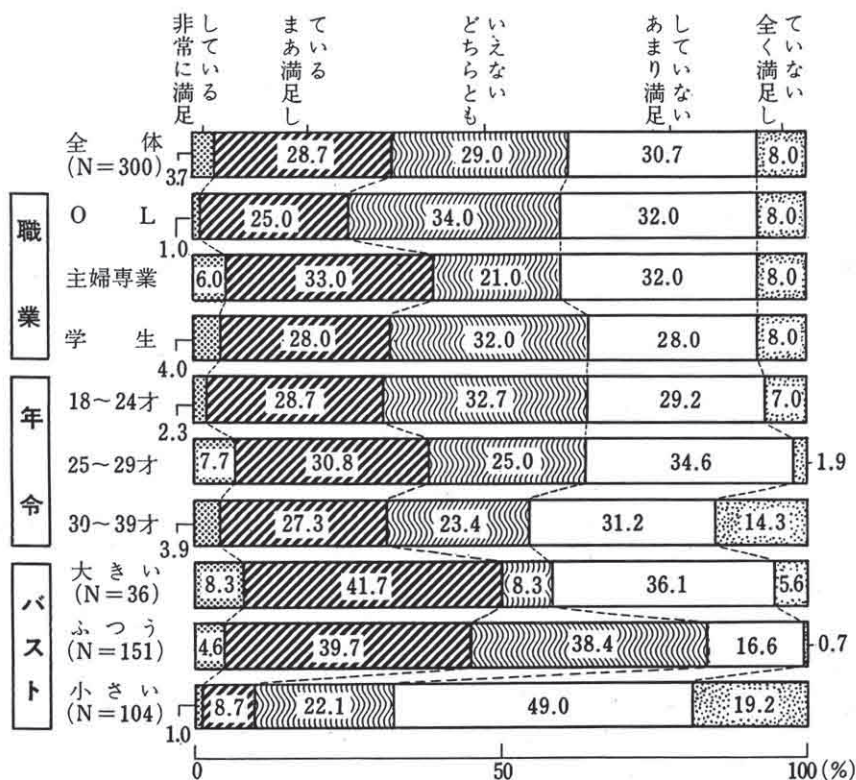
Q2 あなたは自分のバストに満足していますか。

現在、自分のバストに「非常に満足」(3.7%)、「まあ満足」(28.7%)している女性は合計32.4%と、約3人に1人が満足しています。満足度が高いのは、主婦専業が約4割とOL・学生に比べ多く、バストの大小でみる

と、「大きい人」が過半数に達しています。

「不満」とする女性は38.7%で約4割、その原因は「小さすぎる(68.1%)[※]」としています。

〈図1〉 バストの満足度



3. 初めてバストを意識したのは12歳。(平均13.3歳)

Q3-1 あなたが初めてバストを意識し始めたのはいつ頃ですか。

Q3-2 あなたがバストを意識するようになってから、考え方や行動に何か変化がありましたか。

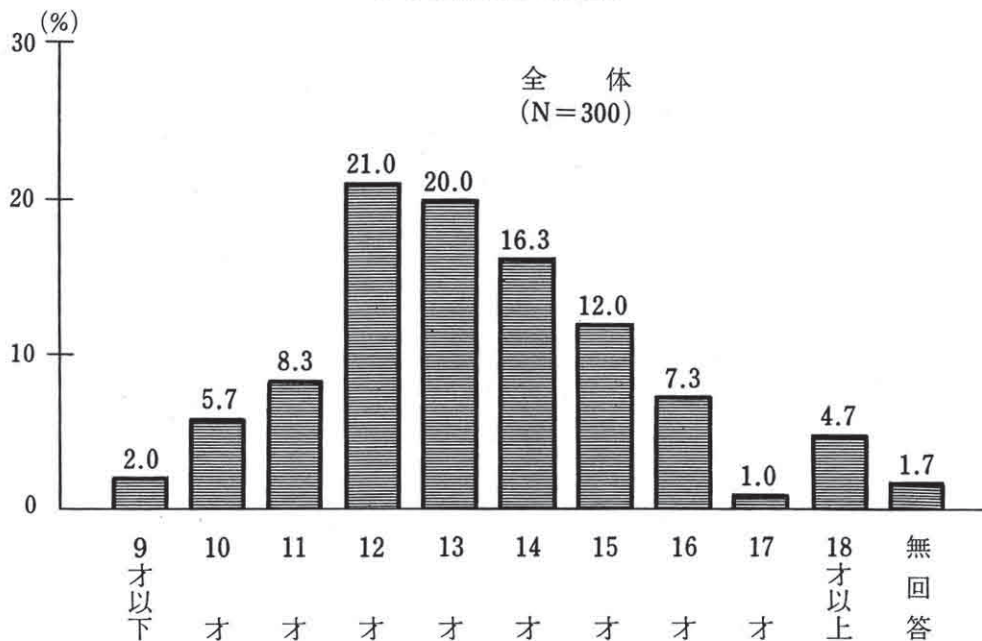
初めてバストを意識した年齢は「12歳」が21.0%で最も多い。次いで「13歳」(20.0%)、「14歳」(16.3%)、「15歳」(12.0%)の順。12歳までの小学生時代に37.0%の女性が初めてバストを意識し、中学生時代48.3%、高校生以上13.0%となっています。平均では13.3歳で、年齢別の比較では若い人ほど意識し始めた年齢が若くなっています。

また、バストを意識するようになってから「下着」(47.3%)や「服装」(32.0%)に気を配るようになったのははじめ、何らかの形で、考え方や行動に変化があったとしています。

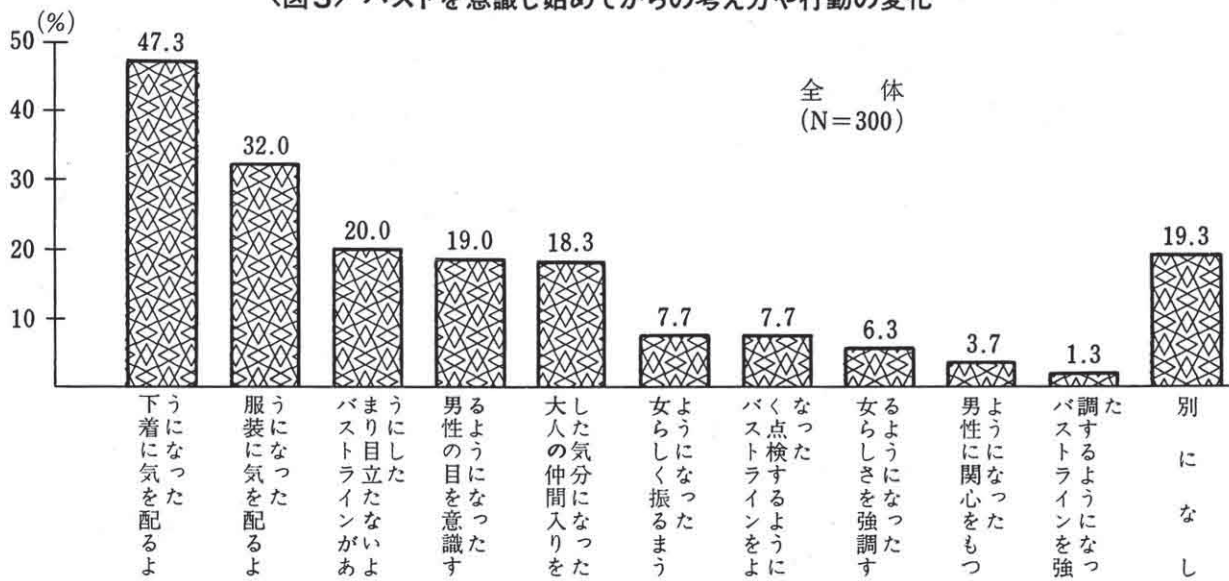
「下着に気を配るようになった」割合は、年齢の若い人ほど高く、「服装に気を配るようになった」は年齢の高い人ほど多くなっています。若い人ほど内側のおしゃれに気を配っているようです。

バストを初めて意識した時期でみると、その時期が早い人ほど「下着や服装に気を配り」、「男性の目を意識し」、「バストラインがあまり目立たないように」している傾向がうかがわれ、その時期が遅い人ほど「女らしく振るまうように」「大人の仲間入りをした気分になった」としています。

〈図2〉 バストを意識し始めたとき



〈図3〉 バストを意識し始めてからの考え方や行動の変化



〈表3〉 考え方や行動の変化、年齢別比較

(単位：%)

ペース	合計	女らしく振るまうようになった	女らしさを強調するようになった	服装に気を配るようになった	下着に気を配るようになった	男性の目を意識するようになった	男性に関心をもちようになった	バストラインをよく点検するようになった	大人の仲間入りをした気分になった	バストラインを強調するようになった	あまり目立たないようなバストラインがあるようになった	別になし	
全体	100.0	7.7	6.3	32.0	47.3	19.0	3.7	7.7	18.3	1.3	20.0	19.3	
年齢	18～24才	100.0	4.7	1.8	29.8	50.3	20.5	2.3	6.4	17.5	0.6	17.5	22.8
	25～29才	100.0	5.8	19.2	32.7	46.2	15.4	3.8	11.5	21.2	1.9	17.3	13.5
	30～39才	100.0	15.6	7.8	36.4	41.6	18.2	6.5	7.8	18.2	2.6	27.3	15.6

〈表4〉 考え方や行動の変化、時期別比較

(単位：%)

ペース	合計	女らしく振るまうようになった	女らしさを強調するようになった	服装に気を配るようになった	下着に気を配るようになった	男性の目を意識するようになった	男性に関心をもちようになった	バストラインをよく点検するようになった	大人の仲間入りをした気分になった	バストラインを強調するようになった	あまり目立たないようなバストラインがあるようになった	別になし	
バストを意識した時期	小学生時代	111 ^(A)	4.5	6.3	36.9	40.5	28.8	3.6	7.2	15.3	1.8	24.3	18.0
	中学生時代	145	8.3	6.9	30.3	55.9	15.9	4.1	8.3	20.7	—	18.6	15.9
	高校生以上	39	15.4	5.1	28.2	38.5	5.1	2.6	7.7	20.5	5.1	15.4	30.8

4. 初めてブラジャーを着けたのは13歳。その時の感想は「恥ずかしかった」。

Q4-1 あなたが初めてブラジャーを着けたのはいつ頃ですか。

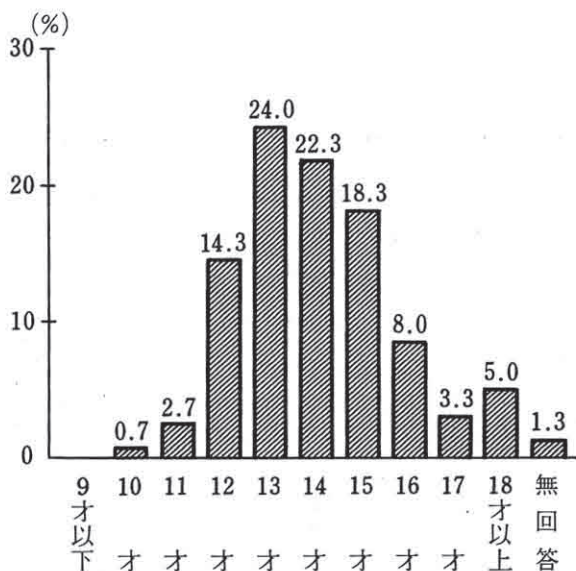
Q4-2 初めてブラジャーを着けた時、あなたはどのように感じましたか。

初めてブラジャーを着けたのは「13歳」(24.0%)が最も多く、次いで「14歳」(22.3%)、「15歳」(18.3%)の順。全体の6割強が中学時代に初めて着用しています。平均でみると14.0歳となっています。初めてバストを意識してから約1年たちブラジャーを着用しているのがうかがえます。年齢別では、バストを意識し始めた年齢と

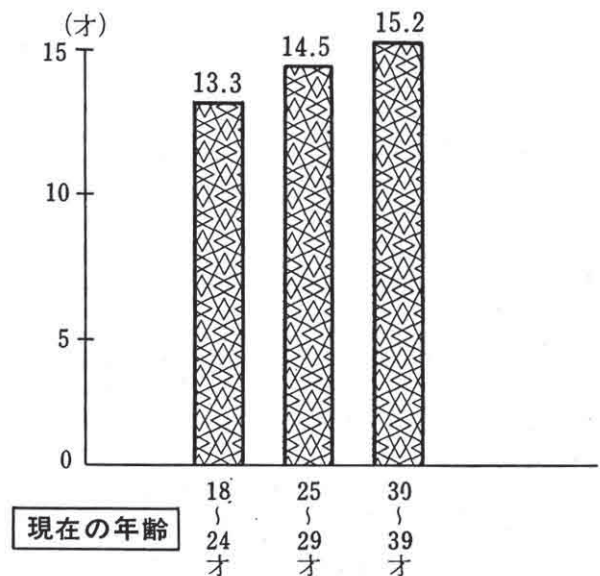
同様、若い人ほどブラジャーを着け始めた年齢が若くなっています。

それでは、初めてブラジャーを着けた時の感想はどうだったでしょうか。「恥ずかしかった」が40.7%と圧倒的に多くなっています。

〈図4〉 ブラジャーを初めて着けた年齢



〈図5〉 ブラジャー初着用の年齢別比



5. 男性からバストについて何かいわれた女性。2人に1人。その話の中身はバストの大・小。

Q5-1 いままで、男性からあなたのバストについて何かいわれたことがありますか。

Q5-2 それはどんなことですか。

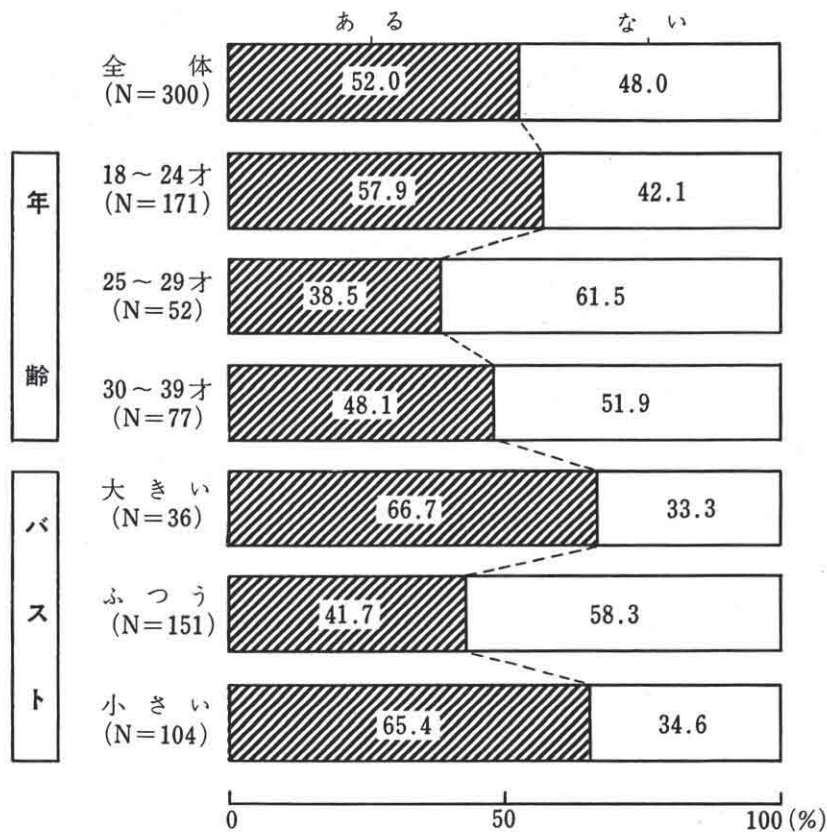
男性からバストについて何かいわれたことがある女性は52.0%、2人に1人。中でも20代前半の女性は、57.9%と約6割がいられています。次いで30代48.1%、20代後半38.5%となっています。

バストの大きさ別にみると、大きい人・小さい人では

3人に2人が何かいらわれていますが、ふつうの人は4割強でやや少なくなっています。

その話の中身は、バストの大きさについてが最も多いようですが、大きい人に対してはホメ言葉が多くみられ逆に小さい人には冷やかしの言葉が目立っています。

〈図6〉 男性からバストについていわれたことが



6. バストの損得、「どちらともいえない」が約8割。でもバストの大きい人の4割強が「得」している。

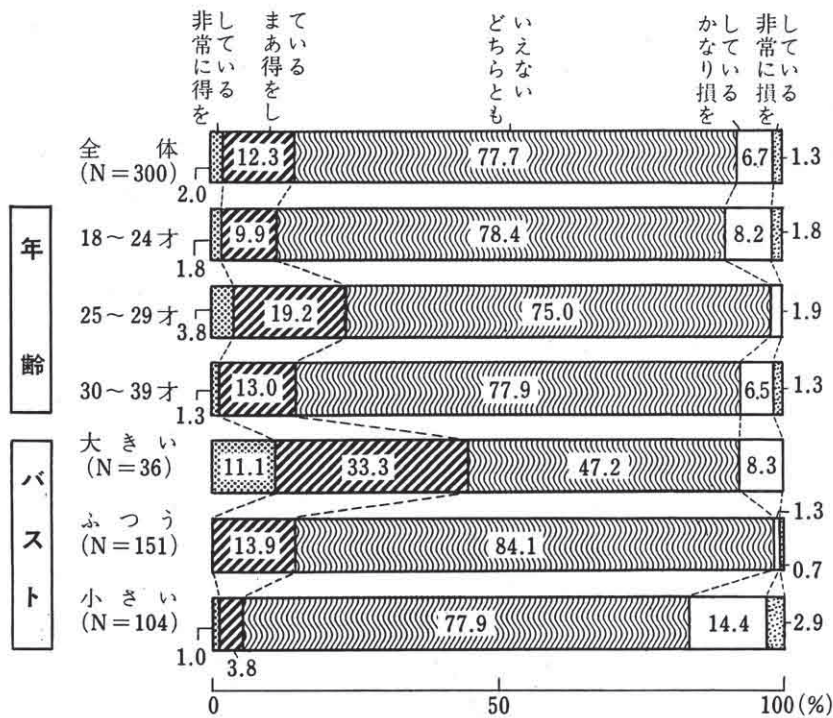
Q6 あなたは今までを振り返ってみて、バストで得をしていますか、損をしていますか。

バストの損得、「得をしている」14.3%、「損をしている」8.0%となっていますが、約8割の女性が「どちらともいえない」としています。ただ、バストがふつうの人・小さい人に比べ、大きい人の4割以上が「得をし

ている」と、極端な差をみせています。

また、年齢別では、「得をしている」割合が最も高いのは20代後半の人で23.0%、次いで30代14.3%、20代前半の人が最も少なく、11.7%となっています。

〈図7〉 バストの損得



7. バストの外見上の差で「セクシーさ」「男性からの注目度」「女らしさ」に影響が。「知性美」「性格」には無関係。

Q7 あなたは外見上のバストの差によって次の事柄にどの程度影響があると思いますか。

バストの外見上の差による影響度を次の7項目について聞き、スコア集計でその割合をはかってみました。

その結果、最も「影響する」としているのは「セクシーさ」で1.15点、次いで「男性からの注目度」(1.01点)「女らしさ」(0.55点)、「健康美」(0.34点)、「若さ」(0.23点)の順となっています。

逆に、「知性美」(-0.66点)、「性格」(-0.49点)には「影響がない」としています。

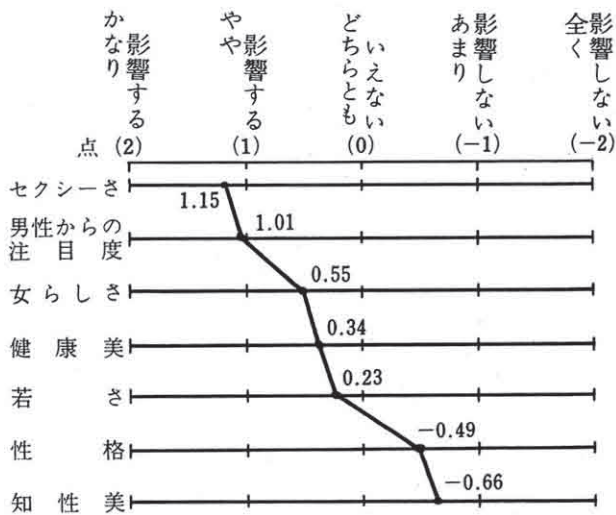
年齢別にみると、「セクシーさ」「男性からの注目度」は若い人の方が、「健康美」「若さ」は年齢の高い人の方が、外見上の差による「影響がある」と思っているようです。

バストの大きさ別では、7項目全部に対して、大きい人の方が小さい人より、「影響する」割合が高くなっています。

注) スコア集計は次の配点で行ったものです。

- かなり影響する……………2点
- やや影響する……………1点
- どちらともいえない……………0点
- あまり影響しない……………-1点
- 全く影響しない……………-2点

〈図8〉 バストの外見上の差による影響度



〈表5〉 属性別にみた平均スコア

		セクシーさ	男性からの注目度	女らしさ	健康美	若さ	性格	知性美
全体		1.15	1.01	0.55	0.34	0.23	-0.49	-0.66
職業	O L	1.20	1.05	0.69	0.38	0.26	-0.41	-0.44
	主婦	0.92	0.87	0.57	0.43	0.43	-0.16	-0.77
	学生	1.32	1.11	0.39	0.20	0.01	-0.90	-0.77
年齢	18~24才	1.31	1.12	0.53	0.28	0.05	-0.68	-0.62
	25~29才	1.02	0.98	0.69	0.38	0.58	-0.27	-0.63
	30~39才	0.87	0.79	0.49	0.43	0.40	-0.21	-0.77
バスト	大きい	1.33	1.42	0.81	0.72	0.75	0.03	-0.47
	ふつう	1.11	0.99	0.55	0.35	0.43	-0.42	-0.61
	小さい	1.14	0.88	0.47	0.14	-0.20	-0.72	-0.76

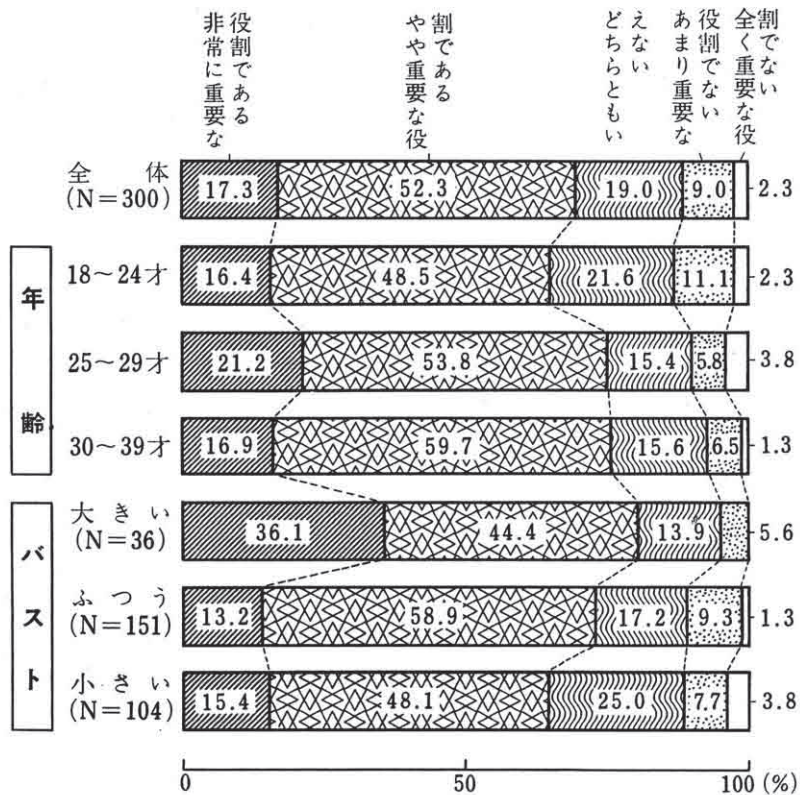
8. “女”を表現する上でのバストの役割、10人に7人が「重要な役割」としています。

Q8 あなたは“女”を表現する上でバストは重要な役割をもつと思いますか。

“女”を表現する上でのバストの役割をたずねてみると、「非常に重要な役割」(17.3%)、「やや重要」(52.3%)とする女性が10人に7人と高率を示しています。年齢別では、年齢が高くなるにつれ「重要」とする人

が多く、バストの大小では、大きい人ほど「重要」としています。とくに、バストの大きい人の3人に1人が、「非常に重要」としているのが目立っています。

〈図9〉 “女”を表現する上でのバストの役割



9. バストを大きく見せたい時は「水着」「ドレスアップ」の時。バストを小さく見せたい時は「スポーツ」「和服」の時。

Q9 あなたは「バストを大きく見せたい」、「バストを小さく見せたい」と思うことがありますか。(複数回答)

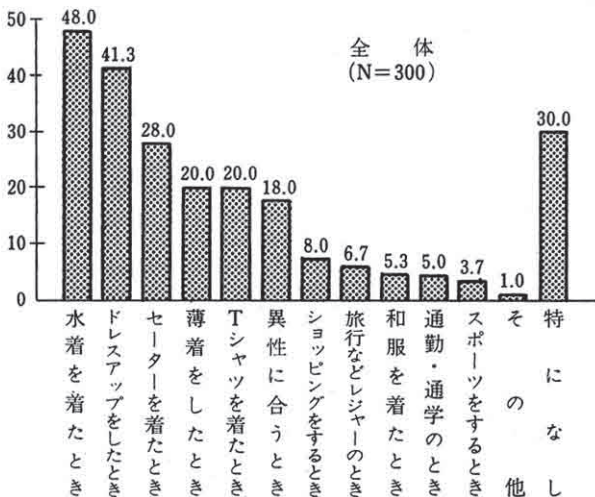
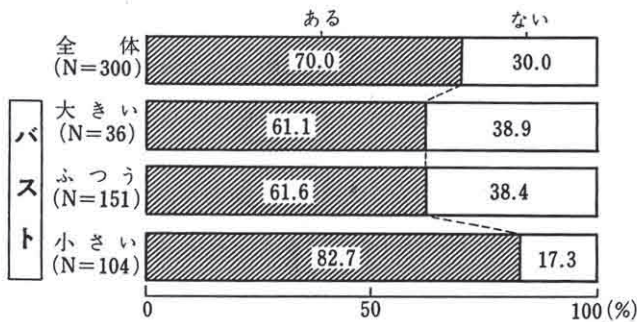
「バストを大きく見せたい」時が“ある”と回答した人は全体の70.0%。20代後半の人が8割弱で最も意識が強くなっています。また、バストの小さい人の8割強が“ある”としていますが、バストの大きい人でも6割強が“ある”としているのが注目されます。

どんな時に大きく見せたいのかをみますと、「水着の時」(48.0%)、「ドレスアップした時」(41.3%)が双壁で、以下「セーター」「うす着」「Tシャツ」「異性に会う」時が2割前後で続いています。

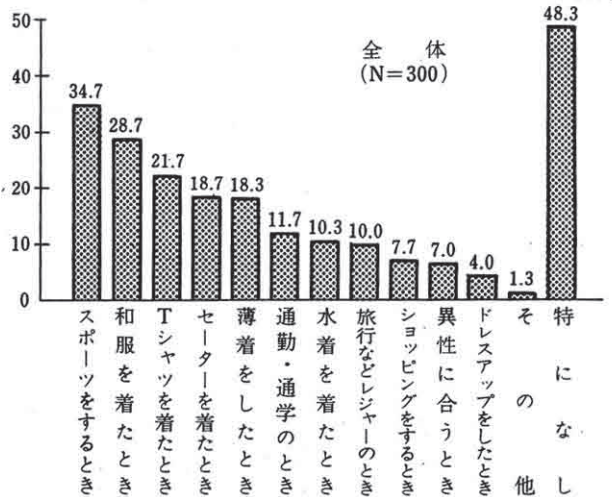
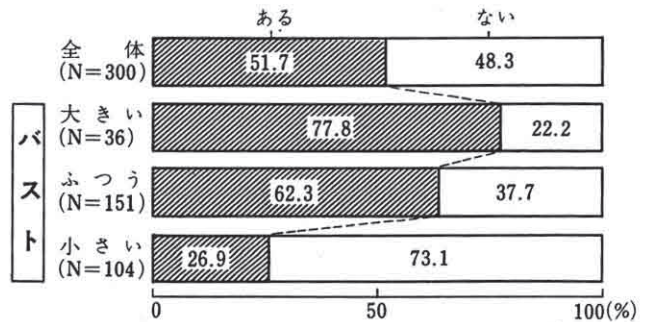
一方、「小さく見せたい」時が“ある”人は51.7%と過半数あり、若い人ほどその意識が強くなっています。バストの大小では、大きい人ほど「小さく見せたい」傾向がみられ、約8割の人が“ある”と回答しています。

それはどんな時かをみますと、「スポーツ」が34.7%で最も多く、次いで「和服」(28.7%)、「Tシャツ」(21.7%)、「セーター」(18.7%)、「うす着」(18.3%)となっています。

〈図10〉 バストを大きく見せたい時



〈図11〉 バストを小さく見せたい時



10. ブラジャーを意識して変えるのは「ドレスアップするとき」「洋服のデザインによって」。「スポーツ」時のブラ、10人に4人が普段と同じ。

Q10 オシャレのT.P.Oについてお聞きます。

洋服・化粧・ブラジャーを、それぞれT.P.Oに合わせて、普段と意識的に変えているか、8つの項目を設定し聞いてみました。

● 洋服を意識して変えるとき —

「季節によって」「ドレスアップするとき」が9割前後で最も多く、以下「スポーツ」(79.7%)、「その日の気分」(74.3%)、「異性に会うとき」(71.7%)となつて

います。

ただ、「家でくつろぐとき」に「変えない」女性が、26.3%いるのは驚きです。

● 「化粧」を意識して変えるとき —

「ドレスアップ」のときが75.7%と最も多く、次いで「季節」(57.7%)、「洋服のデザイン」(48.3%)、「洋服の色」(46.7%)と続いています。

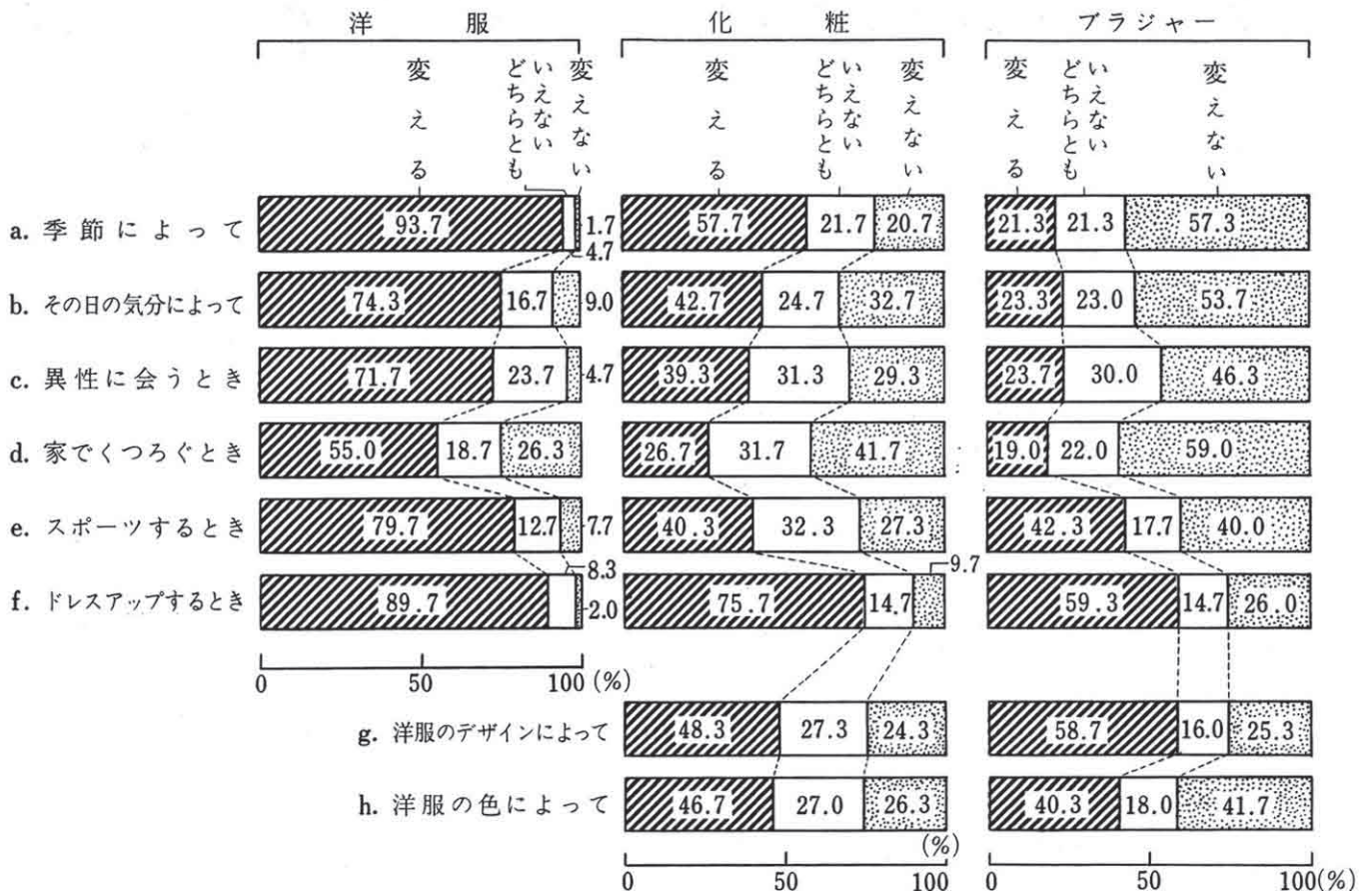
ところが、「変えない」項目をみますと、「家でくつろぐとき」41.7%が化粧を変えず、普段のままとしています。

● 「ブラジャー」を意識して変えるとき —

「ドレスアップ」「洋服のデザイン」によってが6割弱でブラジャーを変えています。次いで「スポーツ」(42.3%)、「洋服の色」(40.3%)となっています。

しかし、「家でくつろぐ」(59.0%)、「季節によって」(57.3%)、「その日の気分」(53.7%)は、半数以上の女性が「変えない」としています。また、動きの激しい、「スポーツ」時でも10人に4人が普段と同じブラを着用しているという結果が出ています。

〈図12〉 オシャレのT.P.O



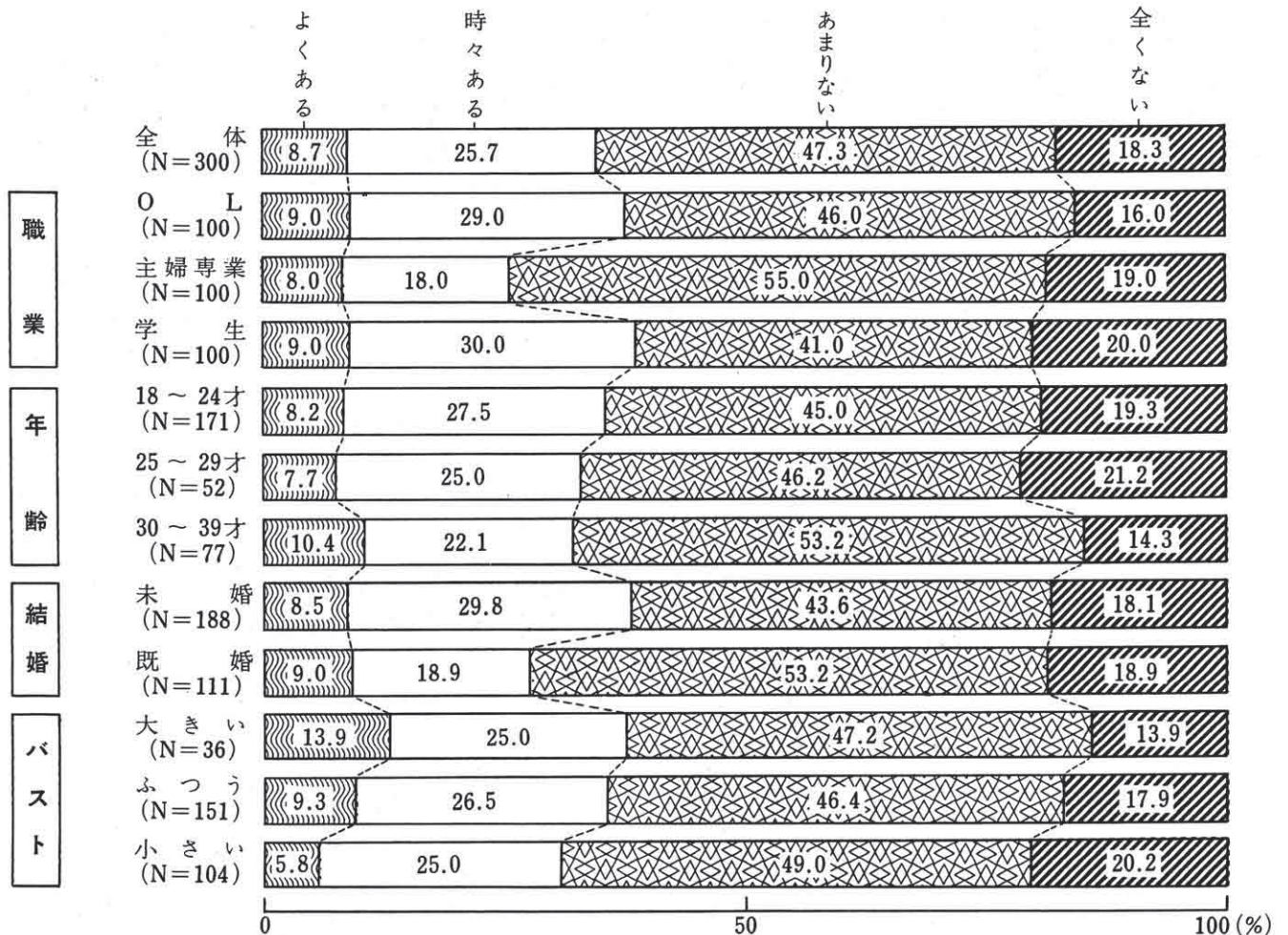
11. ブラの種類や色の違いで、その時の気分や気持ちが変わる女性は3割以上。

Q11 あなたは身につけるブラジャーの種類や色の違いによって、その時の気持ちや気分が変わる事がありますか。

ブラジャーの種類や色を変えることで、その時の気持ちや気分が変わることが「よくある」(8.7%)、「時々ある」(25.7%)と、全体の3人に1人以上(34.4%)が、「ある」としています。
職業別では、学生(39.0%)とOL(38.0%)で「ある」

と答えた人が4割弱で、主婦は26.0%とやや少なくなっています。
年齢別では若い人ほど、バストの大きさ別では大きい人ほど、「ある」という割合が高くなっています。

〈図13〉 身につけるブラジャーの種類や色の違いによる、その時の気持ちや気分の変化



12. “女らしさ”の表現ポイント——「髪」「胸もと」「うなじ」

“女らしさ”の3要素——「思いやり」「やさしさ」「かわいらしさ」

Q12-1 女性にとって、最も“女らしさ”を表現している部分はどこですか。(複数回答)

Q12-2 あなたにとって“女らしさ”はどの程度重要だと思いますか。

Q12-3 あなたにとって“女らしさ”とは、どのようなことですか。(複数回答)

女性の身体の中で、最も“女らしさ”を表現しているところは、「髪」(28.0%)、「胸もと」(27.0%)、「うなじ」(24.7%)が三つの大きなポイントとなっています。

職業別にみますと、OLは「うなじ」(33.0%)、主婦は「胸もと」(40.0%)、学生は「髪」(29.0%)が、それぞれトップとなっています。

年齢別では、若い人は「髪」、年齢の高い人は「胸もと」が第1位となっています。

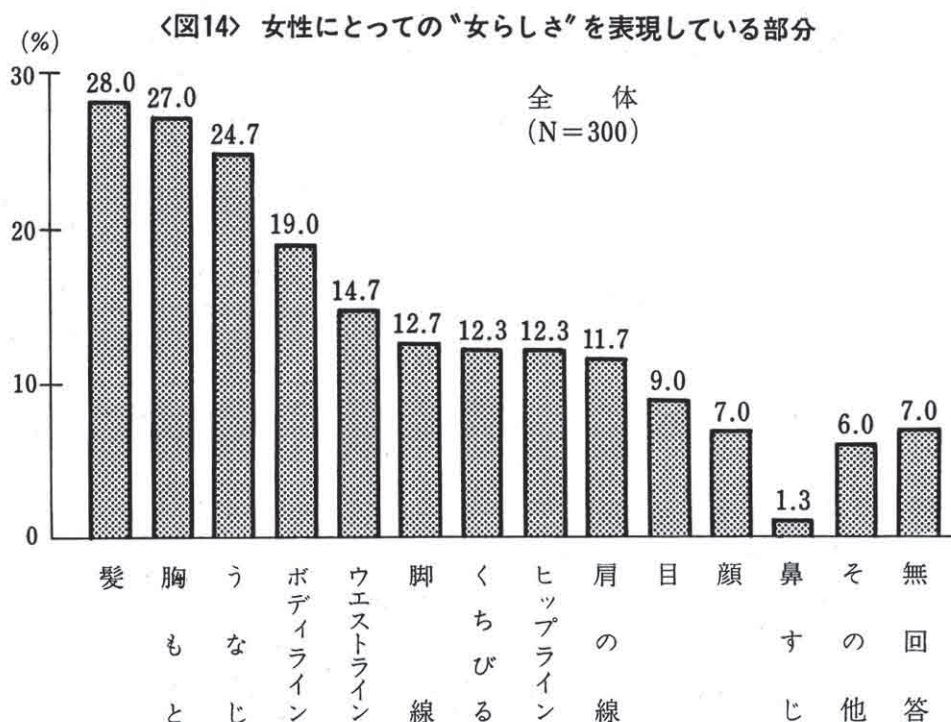
“女らしさ”の重要度を聞いてみますと、「非常に重要」20.0%、「重要」66.0%と、全体の9割弱が“重要”としています。

ただ、職業別にみますと、主婦の5人に1人が「重要でない」と答えています。また、年齢別では、若い人ほど「重要」とし、30代では5人に1人が「重要でない」と回答しています。

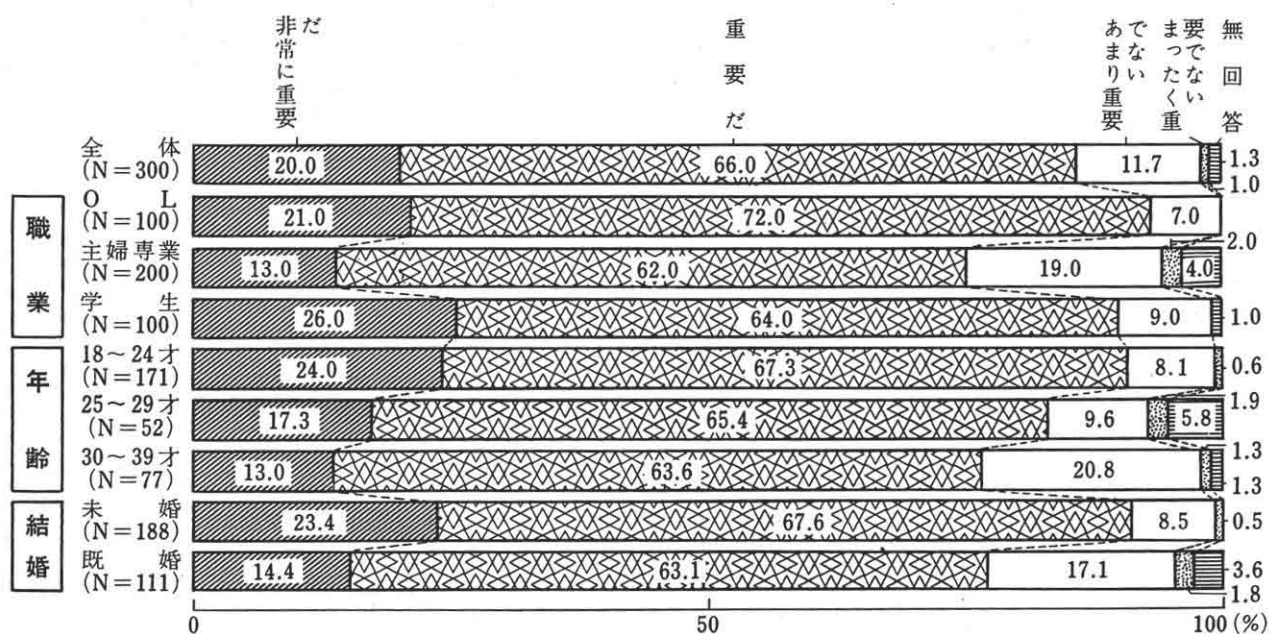
では、“女らしさ”とは、どんなことをいうのでしょうか。

「思いやり」(72.1%)、「やさしさ」(58.1%)、「かわいらしさ」(51.9%)が50%以上で群を抜き、3大要素となっています。

“女らしさ”とは、形ではなく心や精神的なものを指しているようです。



〈図15〉 “女らしさ”の重要度



〈表6〉 “女らしさ”とは

設問は複数回答 (単位: %)

ペース	思いやりがある	やさしきことがある	謙虚なことがある	生き生きとしている	やさわらかいしぐさ	丸味のあるから	かわいらしさがあ	あること	セクシーさがあ	その他	無回答
全体	72.1	58.1	22.9	33.3	15.1	6.2	51.9	10.9	2.3	0.8	
職業											
OL	80.6	58.1	25.8	31.2	12.9	3.2	60.2	10.8	2.2	—	
主婦専業	62.7	52.0	26.7	24.0	16.0	10.7	52.0	12.0	1.3	1.3	
学生	71.1	63.3	16.7	43.3	16.7	5.6	43.3	10.0	3.3	1.1	
年齢											
18~24才	75.6	60.3	17.9	39.1	14.1	3.8	50.6	12.2	3.2	0.6	
25~29才	62.8	62.8	23.3	18.6	20.9	9.3	48.8	9.3	—	2.3	
30~39才	69.5	49.2	35.6	28.8	13.6	10.2	57.6	8.5	1.7	—	
体型											
肥満型	75.0	55.0	10.0	40.0	20.0	15.0	45.9	5.0	—	—	
標準型	70.3	57.0	25.3	32.3	16.5	7.0	51.3	10.1	3.8	1.3	
やせ型	75.0	61.1	20.8	30.6	11.1	2.8	55.6	13.9	—	—	
バスト											
大きい	69.0	58.6	24.1	37.9	20.7	3.4	34.5	20.7	3.4	3.4	
ふつう	69.9	50.7	22.8	34.6	17.6	5.1	54.4	8.8	2.2	—	
小さい	75.9	66.7	21.8	32.2	8.0	8.0	56.3	11.5	2.3	1.1	

13. 「胸の中の想い(感情)は、バストの形になって表われるか」

YES…31.3% NO…68.7%

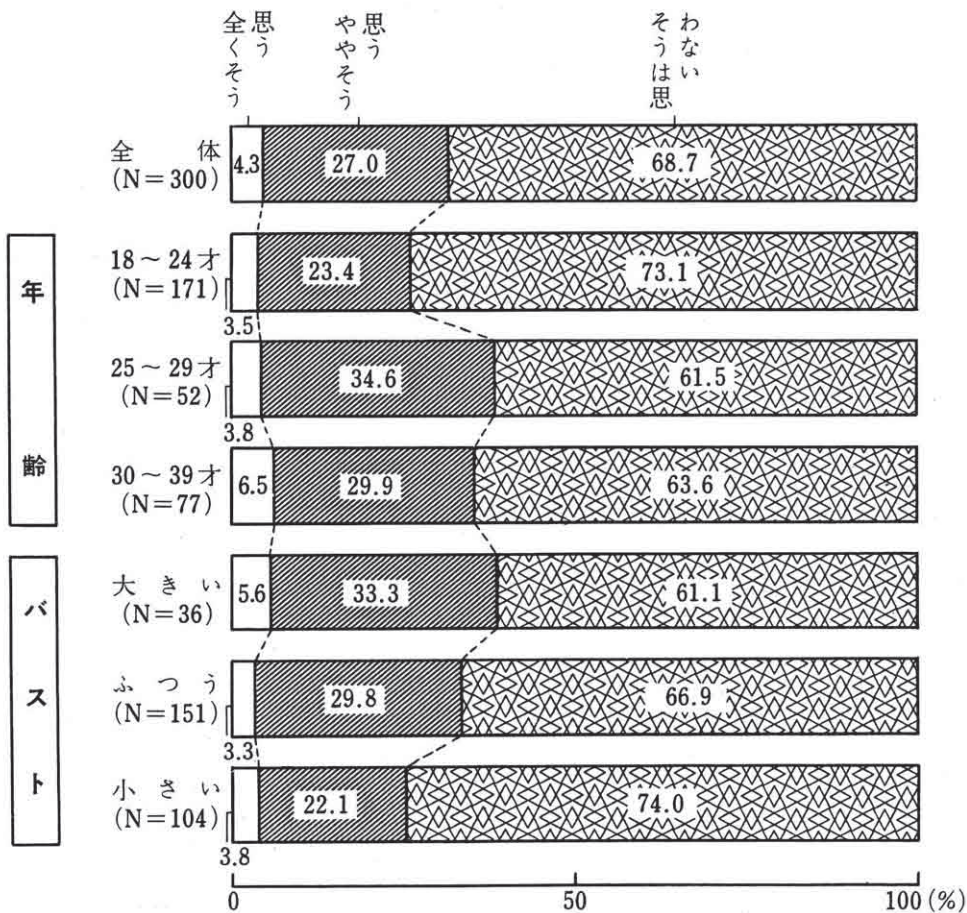
Q13 「胸の中の想い(感情)は、バストの形になって表われる」という説がありますが、あなたはどう思いますか。

「全くそう思う」(4.3%)、「ややそう思う」(27.0%)と3割強の女性が「そう思う」とし、逆に「思わない」と答えた人は68.7%となっています。

属性別にみると、主婦専業(41.0%)・20代後半(38.4%)・バストの大きい人(38.9%)が「そう思う」とする

割合が高くなっています。一方、学生(78.0%)・20代前半(73.1%)・標準型の体型(70.2%)・バストの小さい人(74.0%)が7割以上の高い割合で「思わない」としています。

<図16> 胸の中の想い(感情)は、バストの形になって表われるか



14. 「胸がおどる」のは「うれしい時」「恋愛」、「胸が痛む」のは「悲しい事」「失恋」
「胸がいっぱいになる」のは「うれしい事」「感動」「悲しみ」

Q14-1 あなたは次のような感情を体験したことがありますか。

● 胸がおどる ● 胸が痛む ● 胸がいっぱいになる

Q14-2 それはどんな時ですか。

よく「胸がおどる」「胸が痛む」「胸がいっぱいになる」など胸に関する感情を表現した言葉が数々ありますが、その中から前記の3つの文句についてどの程度体験しているか、その中身はどんな時か、を聞いてみました。

● 「胸がおどる」体験者は10人に8人

「胸がおどる」体験者は80.3%と10人に8人。

属性別にみると、年齢別では30代(84.4%)・20代前半(80.1%)・職業別では学生(84.0%)・体型では標準型(84.0%)・バストの大きさ別では大きい人(94.4%)・普通の人(82.1%)が8割以上の高い体験率を示しています。

それはどんな時か — 表現に多少の違いがみられるものの「うれしい時」、「恋愛」に関することなど「明るい」イメージの事柄が多くあげられています。

● 「胸が痛む」体験者は10人に約8人

「胸が痛む」体験者は79.0%と10人に約8人。

属性別にみると、職業別では学生(82.0%)・OL(81.0%)、年齢別では30代(80.5%)、体型は標準型(83.4%)、バストの大きさ別では大きい人(88.9%)・普通の人(80.8%)が8割以上の体験率を示しています。

それは、ニュアンスの多少の違いはあるものの、「悲しい事があった時」「失恋した時」「人を傷つけてしまった時」など、どちらかといえば「暗い」イメージの事柄が多くみられます。

〈表7〉「胸がおどる」体験

ベース		合計	あ る	な い
全 体		300名 100.0%	241名 80.3%	59名 19.7%
職 業	O L	100名 100.0%	79名 79.0%	21名 21.0%
	主婦 専 業	100名 100.0%	78名 78.0%	22名 22.0%
	学 生	100名 100.0%	84名 84.0%	16名 16.0%
年 令	18 ~ 24 才	171名 100.0%	137名 80.1%	34名 19.9%
	25 ~ 29 才	52名 100.0%	39名 75.0%	13名 25.0%
	30 ~ 89 才	77名 100.0%	65名 84.4%	12名 15.6%
体 型	肥 満 型	27名 100.0%	21名 77.8%	6名 22.2%
	標 準 型	181名 100.0%	152名 8.0%	29名 16.0%
	や せ 型	80名 100.0%	63名 78.8%	17名 21.3%
バ ス ト	大 き い	36名 100.0%	34名 94.4%	2名 5.6%
	ふ つ う	151名 100.0%	124名 82.1%	27名 17.9%
	小 さ い	104名 100.0%	79名 76.0%	25名 24.0%

● 「胸がいっぱいになる」体験者は77.7%

「胸がいっぱいになる」体験者は、前述2項目よりやや少ない77.7%、属性別にみると、学生(83.0%)、やせ型(82.5%)、バスの大きい人(83.3%)が8割以上の高い体験率を示しています。それはどんな時か——前2項目は「明るい」「暗い」と、そのイメージがはっきりしていますが、ここでは「うれしい事があった時」「感動した時」など「明るい」イメージの事柄が多い一方で、「悲しみ」「別れ」「死」など「暗い」イメージの体験もあげられています。

3つの感情についてその体験率と中身を聞いてみましたが、全体としていえることは、いずれの場合でも「恋愛」に関する事柄が数多くあげられています。また、「バスの大きい人」の体験率が目立って高く、「バスの大きさと感受性とは何か関係があるのか注目されます。

〈表8〉「胸が痛む」体験

ペース		合計	あ る	な い
全 体		300名 100.0%	237名 79.0%	63名 21.0%
職 業	O L	100名 100.0%	81名 81.0%	19名 19.0%
	主婦 専 業	100名 100.0%	74名 74.0%	26名 26.0%
	学 生	100名 100.0%	82名 82.0%	18名 18.0%
年 令	18 ~ 24 才	171名 100.0%	136名 79.5%	35名 20.5%
	25 ~ 29 才	52名 100.0%	39名 75.0%	13名 25.0%
	30 ~ 89 才	77名 100.0%	62名 80.5%	15名 19.5%
体 型	肥 満 型	27名 100.0%	19名 70.4%	8名 29.6%
	標 準 型	181名 100.0%	151名 83.4%	30名 16.6%
	や せ 型	80名 100.0%	62名 77.5%	18名 22.5%
バ ス ト	大 き い	36名 100.0%	32名 88.9%	4名 11.1%
	ふ つ う	151名 100.0%	122名 80.8%	29名 19.2%
	小 さ い	104名 100.0%	80名 76.9%	24名 23.1%

〈表9〉「胸がいっぱいになる」体験

ペース		合計	あ る	な い
全 体		300名 100.0%	233名 77.7%	67名 22.3%
職 業	O L	100名 100.0%	77名 77.0%	23名 23.0%
	主婦 専 業	100名 100.0%	73名 73.0%	27名 27.0%
	学 生	100名 100.0%	83名 83.0%	17名 17.0%
年 令	18 ~ 24 才	171名 100.0%	135名 78.9%	36名 21.1%
	25 ~ 29 才	52名 100.0%	38名 73.1%	14名 26.9%
	30 ~ 89 才	77名 100.0%	60名 77.9%	17名 22.1%
体 型	肥 満 型	27名 100.0%	20名 74.1%	7名 25.9%
	標 準 型	181名 100.0%	140名 77.3%	41名 22.7%
	や せ 型	80名 100.0%	66名 82.5%	14名 17.5%
バ ス ト	大 き い	36名 100.0%	30名 83.3%	6名 16.7%
	ふ つ う	151名 100.0%	116名 76.8%	35名 23.2%
	小 さ い	104名 100.0%	82名 78.8%	22名 21.2%

15. “胸に秘めた”思い出——8割強が「ある」

Q15 あなたは“胸に秘めた”思い出がありますか。

“胸に秘めた”思い出が「ある」と答えた人83.0%、「ない」人17.0%となっています。

職業別で「ある」と答えた人は、学生(89.0%)、OL(85.0%)が全体平均を上廻り、主婦専業は75.0%とやや低くなっています。

年齢別にみると、若い人ほど「ある」とし、20代はいずれも平均を上廻っていますが、30代では72.7%と低くなっています。

体型別では、やせ型の人ほど「ある」率が高く、バストの大きさ別では、大きい人、小さい人、普通の人順で「ある」としています。

〈表10〉 “胸に秘めた”思い出

ペース		合計	あ る	な い
全 体		300名 100.0%	249名 83.0%	51名 17.0%
職 業	O L	100名 100.0%	85名 85.0%	15名 15.0%
	主 婦 専 業	100名 100.0%	75名 75.0%	25名 25.0%
	学 生	100名 100.0%	89名 89.0%	11名 11.0%
年 令	18 ~ 24 才	171名 100.0%	149名 87.1%	22名 12.9%
	25 ~ 29 才	22名 100.0%	44名 84.6%	8名 15.4%
	30 ~ 39 才	77名 100.0%	56名 72.7%	21名 27.3%
体 型	肥 満 型	27名 100.0%	20名 74.1%	7名 25.9%
	標 準 型	181名 100.0%	152名 84.0%	29名 16.0%
	や せ 型	80名 100.0%	69名 86.3%	11名 13.8%
バ ス ト	大 き い	36名 100.0%	33名 88.9%	4名 11.1%
	ふ つ う	151名 100.0%	122名 80.8%	29名 19.2%
	小 さ い	104名 100.0%	87名 83.7%	17名 16.3%

16. “胸をひらいて”話し合える友人——8割以上が「いる」、その数は「2～3人」

Q16-1 あなたは“胸をひらいて”話し合える友人がいますか。

Q16-2 それは何人ぐらいですか。

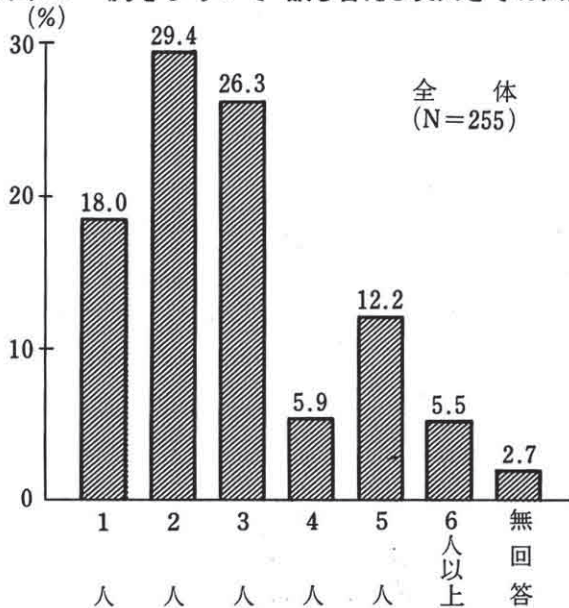
“胸をひらいて”話し合える友人が「いる」女性は、85.0%。

職業別では学生(88.0%)、OL(87.0%)、主婦専業(80.0%)の順で、年齢別では20代後半(88.5%)、20代前半(87.7%)、30代(76.6%)となっています。体型別にみると、やせ型が90.0%と非常に高く、次いで標準型(87.8%)で、肥満型は70.4%と少なくなっています。バストの大きさ別では、大きい人ほど「いる」とする割合が高くなっています。

では何人ぐらいその友人はいるのかを聞いてみると、「2人」という人が29.4%と最も多く、次いで「3人」(26.3%)となっています。女性にとっての親友の数は、「2～3人」といったところです。

全体平均は2.9人となっていますが、「1～3人」が全体の4分の3を占めています。

〈図17〉 “胸をひらいて”話し合える友人とその人数



〈表11〉 “胸をひらいて”話し合える友人

ペース		合計	いる	いない
全 体		300名 100.0%	255名 85.0%	45名 15.0%
職 業	O L	100名 100.0%	87名 87.0%	13名 13.0%
	主 婦 専 業	100名 100.0%	80名 80.0%	20名 20.0%
	学 生	100名 100.0%	88名 88.0%	12名 12.0%
年 令	18～24才	171名 100.0%	150名 87.7%	21名 12.3%
	25～29才	52名 100.0%	46名 88.5%	6名 11.5%
	30～39才	77名 100.0%	59名 76.6%	18名 23.4%
体 型	肥 満 型	27名 100.0%	19名 70.4%	8名 29.6%
	標 準 型	181名 100.0%	159名 87.8%	22名 12.2%
	や せ 型	80名 100.0%	72名 90.0%	8名 10.0%
バ ス ト	大 き い	36名 100.0%	32名 88.9%	4名 11.1%
	ふ つ う	151名 100.0%	131名 86.8%	20名 13.2%
	小 さ い	104名 100.0%	86名 82.7%	18名 17.3%

17. 最も美しいバストの女性——松坂慶子。“胸をはって”生きている女性——市川房枝。

Q17-1 あなたが考える最も美しいバストをもった女性(タレント・スポーツ選手など、どの分野でも結構)をあげて下さい。

Q17-2 あなたが、最も“胸をはって”生きていると思われる女性(タレント・スポーツ選手など、どの分野でも結構)をあげて下さい。

最も美しいバストをもった女性は誰れか? 自由に回答してもらった結果、第1位は松坂慶子、次いで由美かおる、小柳ルミ子、マリリン・モンロー、烏丸せつ子と続いています。日本女性33名、外国女性20名の計53名の具体的な名前があがっています。

また、最も“胸をはって”生きている女性は、総数62名の女性がリストアップされ、その中で故人となった市川房枝が第1位で、第2位が山口百恵、この2人が他を大きく引き離して高い支持を得ています。

〈表12〉美しいバストをもった女性ベスト10

順位	氏名
1	松坂慶子
2	由美かおる
3	小柳ルミ子
4	マリリン・モンロー
5	烏丸せつ子
6	浅野ゆう子
	榊原郁恵
	ミロのビーナス
9	多岐川裕美
	桃井かおり

〈表13〉“胸をはって”生きてる女性ベスト10

順位	氏名
1	市川房枝
2	山口百恵
3	黒柳徹子
4	瀬戸内晴美
5	桐島洋子
	曾野綾子
7	ジェーン・フォンダ
	有吉佐和子
	美空ひばり
10	佐藤愛子

18. “女の胸”とは、「感情や心を表現したり、受け止めるもの」。

Q18 あなたにとって“胸”とは何ですか。(自由回答)

最後に女性の“胸”とは何かをズバリ聞いてみると、語句では「からだの一部」が最も多く、次いで「心」、「女性の象徴」となっています。

しかし、数多くあげられたこれらの語句を大きく分類してみると、「感情や女性の内面を表現したり、受け止

めるもの」「心」といった心情的なものが多く、「からだの一部」「女性としての機能」などの身体的なもの、「女性、母親、母性の象徴」といったシンボリックなものも続いています。

〈表14〉“女の胸”とは(自由回答の大分類)

感情を表現したり、受け止めるもの	(43名)	92名
女性の内面を表現するもの	(28名)	
心	(21名)	
からだの一部	(50名)	75名
子育てなど女性としての機能	(25名)	
女性を象徴するもの	(36名)	45名
母親、母性の象徴	(9名)	
女として必要なもの	(13名)	28名
その他	(15名)	